

## 1. 学歴

- 1980年 3月 一橋大学経済学部卒業  
1980年 4月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学  
1982年 3月 同修了  
1982年 9月 ミネソタ大学大学院経済学科博士課程入学  
1989年 12月 同修了(Ph. D. in Economics)

## 2. 職歴・研究歴

- 1989年 4月 日本輸出入銀行(1991年3月まで)  
1991年 3月 一橋大学経済学部専任講師(1994年3月まで)  
1994年 4月 一橋大学経済学部助教授(1999年12月まで)  
2000年 1月 一橋大学大学院経済学研究科教授  
2000年 4月 一橋大学経済研究所経済制度研究センター教授(兼任)  
2000年 4月 国際協力銀行開発金融研究所客員研究員(2008年9月まで)  
2002年 4月 一橋大学国際共同研究センター教授(兼任)

## 3. 学内教育活動

### A. 担当講義名

#### (a) 学部学生向け

経済学入門, 基礎マクロ経済学, 基礎ミクロ経済学, 基礎ゼミ, 開発経済学

#### (b) 大学院

国際経済開発論, 国際経済開発論, 比較経済史

### B. ゼミナール

学部後期, 大学院

### C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部講義「開発経済学」は、理論的なアプローチに重点を置き、実物面だけでなく金融面のトピックスも重視している。大学院講義「国際経済開発論」「国際経済開発論」では、重要文献の解説と最近の研究動向の紹介を行う。「比較経済史」では、新制度派経済学のアプローチに基づき東北・東南アジアの金融発展に関する研究を紹介する。学部・大学院ともに教場試験を実施して公平な成績評価に努めている。

学部ゼミナールでは、3年次に開発経済学と金融論のテキストを精読する。4年次には「自分で仮説を設定しその検証を行う」という方針で卒業論文を作成し、論理的思考能力を鍛えることを目指している。

大学院ゼミナールは、論文の作成指導が中心である。修士論文の指導では基礎力を養うことを重視している。博士論文の指導では、ワークショップとの連携を図りつつ、専門学術誌に掲載可能な論文を目標としている。ま

た研究に不可欠な現地調査のスキルを習得できるように、学生が海外調査に参加できる機会を積極的に提供している。

## 4. 主な研究テーマ

### (1) ASEAN 諸国の経済発展と金融システム

経済発展に対して金融が果たす役割について、東南アジア各国を事例として総合的に検討することを目指している。『ASEAN の金融システム』東洋経済新報社(2000)、『アジアの経済発展と金融システム(東南アジア編)』東洋経済新報社(2008)、およびその研究者・実務家向け解説版にあたる『新版:開発金融論』日本評論社(2010)などに纏められている。

### (2) ASEAN 諸国の銀行業・証券業の計量分析

途上国金融部門の中核的プレーヤーである銀行と証券会社について、ASEAN 諸国の銀行の経営特性を明らかにし、グローバル化した世界経済における途上国金融部門の市場構造について政策的な検討を加えることを目的としている。ASEAN 各国についての実証研究を、学会誌に発表してきた。

### (3) ASEAN 諸国の企業金融と投資行動

ASEAN 諸国における企業の金融活動について、途上国特有の金融行動の特徴を検討し、政策課題を明らかにすることを目的としている。フィリピン、インドネシア、ベトナムの企業資本構造の実証研究を進めている。

## 5. 研究活動

### A. 業績

#### (a) 著書・編著

『入門開発金融—理論と政策—』(共編著)日本評論社, 1998年, 258頁。

『ASEAN の金融システム:直接投資と開発金融』(単著)東洋経済新報社, 2000年, 312頁。

『アジアの経済発展と金融システム(東南アジア編)』(共編著)東洋経済新報社, 2008年, 322頁。

『新版:開発金融論』(共著)日本評論社, 2010年, 251頁。

#### (b) 論文(査読つき論文には\*)

\* "Financial Factors in Economic Development: A Case Study of the Financial Liberalization Policy in the Philippines," *The Developing Economies*, Vol. 28 (No. 3), September 1990, pp. 240-270.

『日本型ター・ステップ・ローン:世銀アプローチと日本アプローチ』山澤逸平・平田章編『金融危機と金融規制』(研究双書 No. 422), アジア経済研究所, 1992年9月, 85-105頁。

"Demand for Financial Assets in the Philippines in the 1980s: The Impact of Liberalization to Date and Future Issues," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 33 (No. 2), December 1992, pp. 183-195.

"The Changing Pattern of International Capital Flows in NIEs and ASEAN Countries," 『フィナンシャル・レビュー』大蔵省財政金融研究所, 第29号, 1993年6月, 18-45頁。

"Inflation Tax and Capital Flight in An Overlapping Generations Model," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 34 (No. 2), December 1993, pp. 165-176.

\* 「金融自由化政策と経済発展—フィリピンとタイの比較研究—」『アジア経済』第34巻(第6号), 1993年6月, 2-20頁。

\* 「金融:東南アジアの金融的発展」『アジア経済』第36巻(第8号), 1995年8月, 53-63頁。

\* 「タイの金融自由化過程における銀行業の生産・費用構造の変化」(三重野文晴との共同論文)『アジア経

済』第 38 卷(第 6 号), 1997 年 6 月, 2-25 頁。

「フィリピン—銀行部門の経営危機とその処理プロセス」渡辺慎一編『金融危機と金融規制』(研究双書 No. 485), アジア経済研究所, 1998 年 3 月, 139-177 頁。

"What Happened to Thai Commercial Banks in the Pre-Asian Crisis Period: Microeconomic Analysis of Thai Banking Industry," (joint paper with Fumiharu Mieno) *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 40 (No. 2), December 1999, pp. 97-122.

「フィリピン金融自由化政策の 20 年」見誠良編『アジアの金融危機とシステム改革』法政大学出版局, 2000 年 9 月, 283-316 頁。

"The Production Technology of Philippine Domestic Commercial Banks in the Pre-Asian Crisis Period: Estimation of Cost Function in the Period of 1990-1996," (joint paper with Jun Saito) *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 42 (No. 2), December 2001, pp. 81-102.

「ASEAN の持続的経済成長と金融改革」浦田秀次郎・小浜裕久編『東アジアの持続的経済発展』勁草書房, 2001 年, 283-316 頁。

\* 「マレーシア商業銀行の確率的費用関数の推計と銀行再編への政策的なインプリケーション」(橋本英俊・村上美智子との共同論文)『アジア経済』第 44 巻, 2003 年 9 月, 2-20 頁。

「フィリピン製造業のコーポレート・ガバナンスと負債の役割: 企業属性による違いとアジア危機の影響の検証」(齋藤純との共同論文)寺西重郎・花崎編著『コーポレート・ガバナンスの経済学』東京大学出版会, 2003 年 10 月, 369-396 頁。

「外国銀行の進出と途上国の経済発展: アジア研究に向けた論点整理の試み」国宗浩三・久保公二編『グローバル化と途上国の金融問題』(研究双書 No. 536), アジア経済研究所, 2004 年 1 月, 137-165 頁。

「東南アジアの金融発展: 開発金融パラダイムの変化と多様性」(三重野文晴との共同論文)『国際協力論集』神戸大学大学院国際協力研究科, 第 12 巻(第 1 号), 2004 年 8 月, 57-84 頁。

\* "Estimation of Cost Functions of Malaysian Commercial Banks: The Differential Effects of Size, Location, and Ownership," (joint paper with Hidetoshi Hashimoto) *The Asian Economic Journal*, Vol. 18 (No. 3), September 2004, pp. 233-260.

\* "Comparative Cost Study of Foreign and Thai Domestic Banks 1990-2002: Estimating Cost Functions of the Thai Banking Industry," (joint paper with Suvadee Rungsomboon) *Journal of Asian Economics*, Vol. 17 (No. 4), August 2006, pp. 714-737.

\* "The Effects of Foreign Bank Entry on Thai Banking Markets: Estimation Analysis over the Period of 1990-2002," (joint paper with Suvadee Rungsomboon) *Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies*, Vol. 10 (No. 1), March 2007, pp. 101-126.

### (c) 翻訳

ポール・P・ストリーテン「発展途上国に対する産業調整のインプリケーション」山澤逸平・平田章編『先進諸国の産業調整と発展途上国』(研究双書 No.410), アジア経済研究所, 1991 年, 226-245 頁。

### (d) その他

「外国銀行の進出と ASEAN 銀行業への影響: タイ実証研究の示唆するもの」(スワディ・ルンソンブーンとの共同論文)伊藤隆敏・財務省財政総合研究所編著『中国の台頭と東アジアの金融市場』日本評論社, 2006 年 6 月, 103-119 頁。

## B. 最近の研究活動

### (a) 国内外学会発表(基調報告・招待講演には\*)

「アジア危機前後でのインドネシア上場企業の資金調達構造の変化:金融改革は企業行動に影響を与えたか?」(竹康至との共同報告),日本金融学会,2006年4月。

"How Indonesian Companies Changed Their Financing Behaviors after Economic Reforms following the Asian Crisis?: Estimating Capital Structure of Listed Companies' during the Period 1994-2005," (joint paper with Yasushi Take), The 10th International Convention of the East Asian Economic Association, November 2006.

"How Did ASEAN Corporate Financing Change after the Asian Crisis?: Empirical Evidence from Microeconomic-level Data," (joint paper with Fumiharu Mieno), Ministry of Finance, Policy Research Institute and Asian Development Bank joint conference on "Ten Years after the Crisis: Evolving East Asian Financial System and Challenges Ahead," June 2007.

"Could the Reform Policies Change the Corporate Financing in Indonesia?: Estimating the Differential Effects of Business Group, Social Factors, and Ownership," (joint paper with Yasushi Take), The 10th International Convention of the East Asian Economic Association, November 2008.

"The Determinants of the Fundraising Structure of Listed Companies in Vietnam: Estimation of the Effects of Government Ownership," (joint paper with Lai Thi Phuong Nhung), The 12th International Convention of the East Asian Economic Association, November 2010.

### (b) 国内研究プロジェクト

「アジア地域の「グローバル化」—市場,制度,アクターの長期的考察—」文部科学省科学研究費補助金,基盤研究(A),2006-2008年度,研究分担者

「東南アジア企業金融における社会的・制度的要素の推計」文部科学省科学研究費補助金,基盤研究(C),2009-2011年度,研究代表者

### (d) 研究集会オーガナイズ

East Asian Economic Association, November 15 - 16 2008, Diamond Hotel, Manila

East Asian Economic Association, October 1 - 3 2010, Ewha Women University, Seoul

---

## 6. 学内行政

### (b) 学内委員会

国際交流委員会委員(2004年4月 - )

大学院教育専門委員(2006年4月 - 2008年3月)

役員補佐(社会連携担当)(2010年12月 - )

---

## 7. 学外活動

### (a) 他大学講師等

早稲田大学社会科学部非常勤講師(専門演習,マクロ経済学),2004年度,2008年度,2010年度

青山学院大学国際政治経済学部,非常勤講師,国際金融論,2005-2006年度

神戸大学大学院国際協力研究科,開発金融論,2006年度(集中講義)

青山学院大学国際政治経済学部, 非常勤講師, 開発金融論, 2008 - 2010 年度

### (b) 所属学会および学術活動

The East Asian Economic Association (2005 年より学会誌 Associate editor)

日本金融学会

アジア政経学会

日本経済学会

### (d) その他

アジア開発銀行・国際協力事業団「ADB-JICA セミナー: アセアン債券市場整備」講師, 2007 年 11 月。

国際協力事業団「金融制度強化セミナー」講師, 2008 年 1 月。

アジア開発銀行・国際協力機構「ADB-JICA セミナー: アセアン債券市場整備」講師, 2008 年 11 月。

国際協力機構「NIS 金融システム安定化政策および改革戦略」講師, 2009 年 4 月。

国際協力機構「アフリカ地域金融システム」講師, 2009 年 12 月。

アジア開発銀行・国際協力機構「ADB-JICA セミナー: アセアン債券市場整備」講師, 2009 年 12 月。

国際協力機構「金融制度強化セミナー」講師, 2010 年 2 月。

国際協力機構「NIS 金融システム安定化政策および改革戦略」講師, 2010 年 8 月。

アジア開発銀行・国際協力機構「ADB-JICA セミナー: アセアン債券市場整備」講師, 2010 年 12 月。

---

## 8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

財務省「関税・外国為替等審議会」専門, 臨時委員 (2001 年 9 月 - 2007 年 3 月, 2007 年 4 月 - 2010 年 12 月)

財務省「関税・外国為替等審議会」委員 (2010 年 1 月 - )

---

## 9. 一般的言論活動

「東南アジア諸国の債券市場整備の前提条件について—途上国における社債の役割と可能性—」『国際協力研究』Vol. 23 (No. 2), 2007 年 10 月, 62-70 頁。